



18年産の収穫を祝う関係者

平成18年産ハウスキンカン ハサミ入れ式

12月11日、宮之城ひまわり館で、老人クラブ連合会の野菜品評会が行われました。
出品数は409点で、昨年に比べやや少なめでしたが、品物は立派なものばかりでした。
審査を終えた品物は即売され、売られるほど大盛況でした。
野菜品評会は、農村地域独特のクラブ活動で、高齢者の「健康づくりと生きがいづくり」につながっています。



立派な品々が並んだ品評会

12月1日、平成18年産ハウスキンカンハサミ入れ式が池之野俊一さんのキンカン園(新生地区)で行われました。
生産者は24人で4.4haの栽培面積があり、本年販売予想量65トン(昨年比110%)を見込んでいます。
ハウスキンカンは、主に農協を通じて東京、大阪、名古屋の市場を中心に出荷されており、町内の各直売所でも販売されています。
本町産のキンカンは、高品質のキンカンとして市場関係者から高い評価を受けており、高価格での販売が期待されます。

すぎのこ巡回劇場

12月1日、鶴田中央公民館で劇団すぎのこによる人形劇『おだんごぼん』と『このつきなかに』が行われました。
心温まるお話に涙したり、楽しそうに転げて逃げるおだんごぼんに笑ったり歌を歌ったりしながら、親子で楽しい一時を過ごしました。



親子で楽しんだ人形劇

雅楽の夕べ

11月24日、宮之城屋地の信教寺・本堂で、雅楽の夕べが行われました。
このコンサートは、信教寺さんのご門徒さんから水害に見舞われた住民への心温まる義援金と西本願寺鹿兒島別院「雅楽会」有志の方々の賛同により実現されたものです。
古式ゆかしい楽器などを用いた「雅楽」の心に響く生の演奏に訪れた多くの方は、耳を澄ましていました。



古式ゆかしい楽器などを用いた「雅楽」の演奏

きばつてます虎居。感謝祭

12月3日、虎居町の鹿兒島県信用組合の駐車場で「きばつてます虎居。感謝祭」が開催されました。
この祭りは、県北部豪雨災害により大きな被害を受けた虎居地区商店街が地域の皆様の温かい支援により立ち直りつつあることから、お世話になった地域の方々へ感謝の気持ちを込めて開催したものです。



感謝の気持ちを込めてつく餅つき

当日は、感謝の気「餅」として小野原猛実行委員長らによる餅つきが行われ、つきあがった餅は参加者の皆様に振舞われました。
また、山太郎力二などが豊富に入ったちくりん鍋や二渡がらっぱポタルの会より提供された鮎の塩焼きに、多くの方が舌鼓を打っていました。
特設舞台では、保育園児による踊りや太鼓の披露、盈進小学校や宮之城中学校の吹奏楽部による演奏、町内の音楽愛好家のグループによるバイオリンの演奏など多くのイベントが行われ、大いに盛り上がりました。